

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ススミダス		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 30日		～ 2026年 2月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 6日		～ 2026年 2月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントに基づき、個別支援計画を作成し、職員間で共有した上で支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 個別のアセスメント、日々の行動観察を通して特性シートを作成している。 支援計画の作成はチームで行い、子どもの特性や理解の仕方について職員間で共通理解を図りながら支援を実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援後の振り返りの時間を確保する工夫を行い、記録やアセスメント結果を支援改善につなげる仕組みづくりを進める。
2	子どもの自己選択・自己決定を促す支援を意識して行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりに応じた環境調整や支援方法を検討しながら支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間での支援内容や子どもの理解についての共有をさらに進め、チームとして一貫した支援を行える体制を強化する。
3	職員研修や外部コンサルテーションを活用し、専門性の向上に継続的に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> コンサルテーションを毎月実施。職員がコンサルタントとともに改善点や課題について検討し実践につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な職員研修・コンサルテーションと継続し、専門性の向上を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援終了後の振り返りや記録に十分な時間を確保しにくい。	<ul style="list-style-type: none"> 業務の優先順位や時間配分が十分に整理されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援終了後の振り返り時間を確保するため、業務の流れや役割分担を見直す。
2	記録を支援の検証・改善へ体系的につなげる仕組みが発展途上である。	<ul style="list-style-type: none"> 記録から振り返り、支援改善までの流れが明確に標準化されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 記録様式の整理・簡素化を進め、支援の検証・改善につながる仕組みを構築する。
3	地域の子どもの交流や、きょうだい支援の機会が限定的である。	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携やきょうだい支援について、具体的な実施体制の検討が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流やきょうだい支援について、保護者の意向を踏まえながら具体的な取り組みを検討する。